

会務報告

<平成 29 年度例会>

平成 29 年度例会は、日本昆虫学会中国支部と合同で平成 29 年 10 月 13 日に神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室で開催された。講演発表と総会は以下の通りである。

- 1 ○岩井酉樹・坂本克彦（神戸大院・農・昆虫分子）昆虫における P450 遺伝子の発現に及ぼす摂食の影響
- 2 ○岡澤圭祐・前藤 薫・坂本克彦（神戸大院・農）寄主の JHA 処理によるギンケハラボソコマユバチの大型化
- 3 ○高橋一男・山下晋平・滝ヶ平智弘（岡山大学）内部寄生蜂の発育可塑性に影響する宿主体内環境の探索
- 4 ○林 由希子・竹松葉子（山口大院・創成科学）・東浦 祥光（山口県農業技術センター）カメムシ類卵寄生蜂 *Trissolcus* 属の産卵選好性
- 5 ○木寺洋彬・高橋一男（岡山大院・環境生命科学） 同種・他種の産卵がオウトウショウジョウバエの産卵選好性に与える影響
- 6 軸丸祥大（広島総研・農技セ・果樹）ブドウの環状剥皮部位に対するクビアカスカシバの加害は MEP 乳剤で予防できるのか？
- 7 ○城塚可奈子・山本優一・柴尾 学（大阪環農水研）・衣浦 晴生（森林総研）大阪府におけるクビアカツヤカミキリの発生および被害状況と生体トラップによる誘殺虫数
- 8 ○中 秀司（鳥取大・農）・徳丸 晋（京都府病防除所）・久木崎 孝弘（京都府丹後農改セ）・矢野高広（日本蛾類学会）・松井悠樹・山岸瑞樹（鳥取大・農）京都北部で発見されたナシの新害虫ナシコスカシバ(仮)
- 9 ○中田 健・田中 篤（鳥取県園芸試験場）鳥取県におけるニセナシサビダニの防除対策
- 10 ○岩本哲弥・本田善之（山口県農林総合技術センター）チュウゴクナシキジラミの薬剤感受性に関する事例報告
- 11 星野 滋（広島総研農技セ）ピリフルキナゾン水和剤がトマトのタバコカスミカメ個体数に与える影響
- 12 ○金子修治・城塚可奈子・柴尾 学（大阪環農水研） 半促成栽培ナスにおける飛ばないナミテントウのアブラムシ防除効果の検討
- 13 ○本田善之・岩本哲弥（山口県農林総合技術センター）、遠藤 信幸（中央農業研究センター北陸拠点）コガネムシ類を抑えたアオクサカメムシ、ミナミアオカメムシの LED 光源の探索
【特別講演】 宇野知秀（神戸大学農学研究科・教授） 昆虫の脳内に存在する蛋白質について
- 14 林 成多（ホシザキグリーン財団）島根県のアリ相の解明状況
- 15 平木佳奈（山口大・理）・西村順子・鮎川恵理（八戸工大・工）北沢千里（山口大・教育）・山本響・小島 渉・○山中 明（山口大院・創成科学）ベニシジミ幼虫の体色発現に地理的差異はあるのか？
- 16 両角勇太郎・村上智俊（広島大学大学院）・渡邊通人（富士山自然保護センター）・太田伸二・○大村 尚（広島大学大学院）ミヤマシジミ雄成虫でみつかった揮発性物質の化学組成と発香鱗の形態的特徴
- 17 石原 凌（岡山大学大学院環境生命科学研究科） ヤマトシリアゲが採用する交尾戦術に体サイズおよび FA は影響するか？
- 18 ○小西加奈・宮竹貴久（岡山大院環境生命） カシミールコクヌストモドキの死にまね行動に対する人為選抜への直接反応
- 19 ○前田侑大・杉浦真治（神戸大・農・昆虫多様性）ハスモンヨトウ幼虫における遺体食行動：非

常食としての効果

20 ○松村健太郎・伊藤遼平・宮竹貴久（岡山大院環境生命）コメグラサシガメにおける個性と生活史そして概日リズムの関係

21 ○梅澤高德・坂本克彦（神大院・農・昆虫分子）セミの抜け殻が植物の生育に及ぼす影響

22 ○泉 洋平（島根大・生資）・村上果生（島根大院・生資）・宮下祐司（愛媛県農林水産部）ヤノネカイガラムシの発育に関与する柑橘植物成分の探索

23 ○奥谷恭代・福田侑記（鳥取県農業試験場）製造会社が異なるアカスジカスミカメ発生予察用フェロモン剤に対する誘引性の比較

24 ○澤村信生（島根農技セ）・田端純（農研機構）・奈良井祐隆（島根農技セ）マツモトコナカイガラムシの誘引時刻と交尾時刻

<平成 29 年度総会>

下記の報告ならびに協議事項が了承された。

1. 事務報告

(1) 一般経過

平成 29 年 10 月 平成 28 年度会計監査(会計監査委員：東浦祥光氏、中田 健氏)
10 月 神戸市（神戸大学）にて役員会・例会を開催

(2) 会員動静(平成 29 年 10 月 1 日現在)

- ・ 普通会員：48 名
- ・ 賛助会員：7 団体
- ・ 名誉会員：6 名(敬称略：坪井昭正，松本義明，矢野宏二，山口福男、小原 隆三、積木久明)

(3) 普通会員の会費納入状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

省略

(4) 会報関係

- ・ 原著論文および講演要旨はオンラインで公開予定
- ・ 会務報告等はメールリスト等を活用予定

2. 会計報告

(1)平成 28 年度会計決算

平成 28 年度 会計決算

平成 28 年 12 月 31 日

収入		支出	
繰越金	704,337 円	印刷費	74,520 円
普通会員会費	168,000 円	例会補助費	50,000 円
賛助会員会費	30,000 円	通信費	9,322 円
超過ページ・別刷代	0 円	事務費	1,069 円
バックナンバー売上代	0 円	振替手数料	512 円
利子・利息	9 円	振替	0 円
雑収入	0 円	繰越金	766,923 円
合計	902,346 円	合計	902,346 円

(2)平成 29 年度会計執行状況(平成 29 年 10 月 1 日現在)

(収入の部)	予算額	現在額	(支出の部)	予算額	執行額
前年度繰越	580,000 円	753,923 円	会報印刷費	0 円	0 円
普通会員会費	153,000	6000	例会補助費	50,000	0
賛助会員会費	0	10000	通信費	10,000	0
利子・利息	10	0	事務費	5,000	0
			振替手数料	200	130
			予備費	597,810	769,793
(合計)	733,010 円	769,923 円	(合計)	663,010 円	769,923 円

3.会計監査報告

平成 29 年 10 月 14 日

西日本応用動物昆虫研究会
会長 宮竹 貴久殿

会計監査委員 中田 健
東浦祥光

日本応用動物昆虫学会中国支部規約に従い、平成 29 年 10 月 13 日に下記事項について会計監査を行った。

- 1.各帳簿の記載内容の正否
- 2.収入・支出の内容及び予算の執行計画と実施状況
- 3.現金および預貯金通帳の確認
- 4.その他会計業務遂行に伴う必要事項

監査結果

- 1.各帳簿の記載内容・収支の内容は適正であった。

4.議題

(1)規約について

(2)平成 30 年度事業計画(案)

- ・会報第 59 号(第 1 号)の発行
- ・合同例会の開催(岡山)

・

(3)平成 30 年度予算(案)

(収入の部)		(支出の部)	
前年度繰越	700,000	会報印刷費	0
普通会员会費	49,000	例会補助費	50,000
賛助会員会費	0	通信費	10,000
利子・利息	10	事務費	5,000
		振替(込)手数料	200
		予備費	683,810
(合計)	749,010	(合計)	749,010

(4)その他